

会 議 議 事 録

1 会議名	平成30年度長岡市教育委員会事務評価委員会
2 開催日時	平成30年7月11日（水）午後2時から午後4時まで
3 開催場所	さいわいプラザ 4階 教育委員会会議室
4 出席者名	<p>（委員）</p> <p>青柳委員長 渡辺副委員長 高野委員</p> <p>（説明のために出席した職員）</p> <p>高橋教育長 金澤教育部長 波多子ども未来部長</p> <p>曾根教育総務課長 吉田教育施設課長補佐 中山学務課長補佐</p> <p>江田学校教育課長補佐 大矢子ども家庭課長 田辺保育課長</p> <p>斎藤青少年育成課長 山田中央図書館長 小熊科学博物館長</p> <p>高橋学校教育課主幹兼管理指導主事</p> <p>神林学校教育課主幹兼管理指導主事</p> <p>丸山学校教育課主幹兼管理指導主事</p> <p>（事務局）</p> <p>安達教育総務課長補佐 佐藤教育総務課庶務係長</p> <p>内藤教育総務課主査 五十嵐教育総務課主事</p>
5 欠席者名	なし
6 議題	<p>(1) 平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について</p> <p>① 教育委員会会議の開催及び審議状況等について</p> <p>② 教育委員会における事務の点検・評価について</p> <p>(2) その他</p>
7 審議結果の概要	資料に基づき、平成29年度に教育委員会が実施した各種事業等について、担当課長が委員に説明し、委員からの質問に回答した。

8 審議の内容	
曾根教育総務課長	1 開会
高橋教育長	2 教育長あいさつ
曾根教育総務課長	3 事務評価委員紹介
曾根教育総務課長	4 議事
	(1) 平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
	Ⅰ 教育委員会会議の開催及び審議状況等について
	・ 資料に基づき事務局が説明
	・ 質疑応答
渡辺副委員長	(質問) 教育委員会定例会の開催をどのように公表しているのか。
曾根教育総務課長	(回答) 定例会開催日の 1 週間前に、アオーレ長岡の掲示板や長岡市ホームページに告示している。ホームページの告示ページから見るができる。
渡辺副委員長	(質問) 教育委員会のページに情報は掲載されているか。
曾根教育総務課長	(回答) 会議録は掲載している。
青柳委員長	(意見) 定例会が開催されていることがわかりやすくなると、傍聴人が増えるのではないか。
高橋教育長	(回答) 定例会の傍聴人は報道関係者がほとんどである。市民に興味を持って定例会を傍聴してもらえよう検討する。
渡辺副委員長	(意見) 地域から選出された学校評議員が教育委員と接する機会を設けられないか。
高橋教育長	(回答) 施設訪問では、学校評議員や後援会長、保護者会長との懇談の場を設けている学校もある。学校が設定したテーマに基づいて懇談するため、テーマによって出席者が異なる。
高野委員	(質問) 学校との懇談内容を共有する場は設けられているか。
金澤教育部長	(回答) 教育委員会として、懇談内容を学校に共有することはしていない。懇談のテーマが学校が抱えている問題や課題であることが多く、個別の内容となるため全体に共有しにくいためである。ただ、校長会などの場において校長間で自主的に情報共有されることもある。

	<p>II 教育委員会における事務の点検・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に基づき事務局が説明 ・ 質疑応答 <p>【1 郷土愛の醸成による人材の育成】</p> <p>(質問) 「ながおか学」は市内の各書店に置かれているか。</p> <p>(回答) 書店協同組合を通じて市内5か所の書店で約250冊販売したが、すぐに売り切れた。今後増刷する予定である。</p> <p>(回答) 郷土愛の醸成を目的に冊子を作成したが、支所地域の観光が掲載されているため様々な目的で利用されている。</p> <p>(意見) 小学生向けに作製したことで、誰もがわかりやすい冊子となったことがよかったのではないかと。増刷する際には、冊子をPRすることでより多くの方から読んでもらうことができるのではないかと。</p> <p>【2 子ども・子育て支援の充実】</p> <p>(質問) 母子保健推進員の年齢層が非常に高くなっていると聞いている。次世代への引継ぎ状況を教えてほしい。</p> <p>(回答) 40代の推進員もおり、少しずつ世代交代が行われている。</p> <p>(質問) すこやかファイルの作成者が増加したとあるが、一昨年度に比べてどのくらい増えたのか。また、すこやかファイルは保護者の要望により作成するのか。</p> <p>(回答) 一昨年度は58名、昨年度は72名であった。すこやかファイルは保育園と保護者がともに作成するが、保護者の同意がなければ作成しない。</p> <p>(回答) すこやかファイルの引き継ぎは保育園が行うのではなく、ファイルを管理している保護者が小学校へ引き継ぐ。</p> <p>(意見) 自分自身もままナビにおいて、仕事と子育ての両立についてセミナーをしているが、その際にファミリー・サポート・センターについて聞かれることがある。どのような取組があるか相談できる場を設けるなど、施策に横のつながりを持たせることはできないか。</p> <p>(回答) 今後も関係機関や新たな取組と連携しながら進めていきたい。様々な相談窓口を設けるとともに、ご指摘のような一度で様々な相談を受ける方法も検討していく。</p> <p>(質問) 子育て支援員を認定する研修会について、年齢制限はあるか。</p>
渡辺副委員長	
江田学校教育課長補佐	
高橋教育長	
渡辺副委員長	
高野委員	
大矢子ども家庭課長	
高野委員	
大矢子ども家庭課長	
金澤教育部長	
高野委員	
波多子ども未来部長	
渡辺副委員長	

田辺保育課長	<p>また男女比はどのようになっているか。</p> <p>(回答) 今年度の第1回目の研修会は、男性3名、女性68名の計71名が受講している。このうち、現在保育関係業務に従事している方が29名、保育とは関係ない業務に従事している方が18名、未就労者が24名である。年齢制限はなく、10代から70代と幅広い世代が受講している。</p>
高野委員	<p>(質問) 児童クラブに市職員が訪問し、活動支援をすることはあるか。また頻度はどのくらいか。</p>
斎藤青少年育成課長	<p>(回答) 支援を要する児童への対応などの個別案件について、学校や児童厚生員の間に入って相談できるよう、元教員である放課後発達支援コーディネーターがいつでも児童クラブを訪問できるようにしている。このほか、放課後子どもプラン推進コーディネーターが児童館・児童クラブにおける放課後子ども教室の運営について指導している。</p>
青柳委員長	<p>【3 質の高い教育の推進】</p> <p>(質問) 熱中！感動！夢づくり教育の取組が、成果として全国学力・学習状況調査の結果に反映されていると考えているが、状況はどうか。</p>
金澤教育部長	<p>(回答) 県・全国平均と比較すると、B学力（活用）の点数が高い傾向がある。また、学習状況調査の結果から、中学生の地域行事への参加が高いという結果がでている。</p>
渡辺副委員長	<p>(質問) 地域連携フォーラムについて、地域の実情を学校が把握することが重要であると考えられるが、テーマ設定が成功した事例を紹介しているか。</p>
神林学校教育課主幹 兼管理指導主事	<p>(回答) 各学校がどのようなテーマを設定しているかや、どのような講師を依頼しているかを学校へ情報提供している。その地域あるいは生徒の実情に応じたテーマとなっていて、例えば、いじめゼロに向けた取組やSNSの適切な利用についてなどがある。</p>
青柳委員長	<p>(質問) 特別支援が必要な児童・生徒の推移を教えてください。</p>
高橋学校教育課主幹 兼管理指導主事	<p>(回答) 児童・生徒の総数は減少している中で、特別な支援が必要な児童・生徒の人数、割合ともに増加している。それに伴い、特別支援学級の新設・増設の要望も増えているが、すべての要望に応えることができていない状況である。</p>
渡辺副委員長	<p>(質問) 特別支援について、特別な支援が必要かどうか判断に迷う児</p>

高橋学校教育課主幹 兼管理指導主事	<p>童・生徒についてどのように把握しているか。</p> <p>(回答) 各学校において、発達障害の程度についてさまざまな項目・観点から児童の実態を確認し、保護者と相談した上で特別支援学級に入れたり通常学級において支援したりするなどの決定をする。通常学級における配慮が必要な児童・生徒を担当する介助員も配置している。</p>
高野委員	<p>(質問) 不審者情報の提供について、警察から提供された情報は学校にすべて提供されているか。また、警察からの情報について学校の判断で保護者への提供をしないことはあるか。</p>
金澤教育部長	<p>(回答) 警察から教育委員会へ提供された情報はすべての学校に周知している。一方で、学校から教育委員会に提供される情報もあるが、その情報を警察が知っていても警察の判断によって教育委員会に情報提供がされない場合がある。その場合は、教育委員会から事件の発生場所の近隣の学校に情報提供しているため、情報を知っている保護者と知らない保護者が出てくる。</p>
青柳委員長	<p>(意見) 通学路の安全点検やセーフティパトロールについて、新潟市での誘拐・殺人事件や大阪地震でのブロック塀の倒壊の例からも、いつどこで何が起こるかわからない状況であるため、今後も継続し、悲惨な事故が起きないようにしてほしい。</p>
金澤教育部長	<p>(回答) 通学路の安全確保はもともと交通安全の視点で行われているが、防犯や災害発生時の安全などの視点も含めて取り組むようにしている。夏休み前の下校指導とあわせて実施したい。</p>
<p>【4 生涯にわたるまなびの場の充実】</p>	
<p>質疑なし</p>	
<p>【全体を通しての質問・意見】</p>	
青柳委員長	<p>(質問) 科学博物館の展示について、来館者への説明をどのように行っているか。</p>
小熊科学博物館長	<p>(回答) 団体やグループでの来館者から要望があれば学芸員が展示品の説明をしている。今後、個人での来館者に対し展示品の解説文の充実などの利便性が高まる取組を検討する。</p>
青柳委員長	<p>(質問) 教職員及び教育委員会事務局の多忙化に対する取組について、説明してほしい。</p>
高橋教育長	<p>(回答) 事務局については、年に1回市の行政管理課から業務状況の</p>

<p>渡辺副委員長 金澤教育部長</p> <p>青柳委員長</p> <p>各委員</p>	<p>ヒアリングが行われ、業務量に対して職員数が適正か検討する場がある。学校については、教職員の適正人数の配置を県教育委員会に要望している。また、長岡市教育委員会の取組として、今年度より部活動の外部指導員 10 名を配置している。これまでと異なり、学校の職員として勤務するため、単独での休日の対外試合への引率が可能になる。また、県と市が費用を負担して大規模校に対して事務補助員 5 名を配置した。いずれも今年度の成果を検証して今後の取組を検討する。また、市町村ごとで異なる校務システムを使用しているが、県内で統一したものを導入できないか今後県教育委員会と協議したいと考えている。</p> <p>(質問) 部活動の外部指導員はすべて運動部か。</p> <p>(回答) 吹奏楽部顧問を 1 名配置している。</p> <p>(2)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価委員の意見提出について <p>集約した意見の調整については、私と事務局とで調整するということでよいか。</p> <p>異議なし。</p> <p>5 閉会</p>
<p>(出席委員の署名欄)</p>	
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	